

(3) なす

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
うどんこ病	インパ レクションクリア	パチルスアミロクエファンセス水和剤	BM2		1000~2000倍	100~300%/10a	発病前~発病初期	散布	-	野菜類
	シグナムWDG	ビラカストロピン・ボスカリド水和剤	11,7		1500倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	トリフィン水和剤	トリフルミダール水和剤	3		3000~5000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
	バルミノ	キチザリン系水和剤	"UN(I*)		2000倍	150~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	ブローパティフロアブル	ビリオフィノク水和剤	50		3000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	モルスタク水和剤	キチザリン系水和剤	"UN(I*)		2000~3000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
灰色かび病	カンタストライフロアブル	ボスカリド水和剤	7		1000~1500倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	スミレックス水和剤	ブロンジミン水和剤	2		1000~2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	6回以内	なす
					250g/10a	5%/10a	収穫前日まで	常温煙霧	6回以内	なす
	ボリベリン水和剤	イミダゾリジン酢酸塩・ボリベリン水和剤	"[-](I*),M7		1000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
ロアラル水和剤	イブロンジオン水和剤	2		1000~1500倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす	
苗木枯病	オソサイド水和剤80	キヤンタン水和剤	M4		800倍	2%/m ²	は種後から2~3葉期まで	灌注	5回以内	なす
					種子重量の0.2~0.4%	-	は種前	種子粉衣	1回	なす
アザミヤシ類	アドマイヤー1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1~2g/株		定植時	植穴又は 株元土壌 混和	1回	なす
	アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド水和剤	4A	劇	2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	アベイル粒剤	アセタミプリド・シアントラニプロール粒剤	28,4A		2g/株		育苗期後半~定植当日	株元散布	1回	なす
	ダブッシュターSE	脂肪酸ゲリルド・ステノサド水和剤	"[-],5		1000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	2000~4000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	アザラムシ類	アケロスリン乳剤	シペルメトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	5回以内
アドマイヤー1粒剤		イミダクロプリド粒剤	4A		1~2g/株		定植時	植穴又は 株元土壌 混和	1回	なす
					1g/株		育苗期後半	株元散布	1回	なす
アドマイヤー水和剤		イミダクロプリド水和剤	4A	劇	100g/10a	5%/10a	収穫前日まで	常温煙霧	2回以内	なす
					2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
アベイル粒剤		アセタミプリド・シアントラニプロール粒剤	28,4A		2g/株		育苗期後半~定植当日	株元散布	1回	なす
オルトラン粒剤		アセフェート粒剤	1B		3~6kg/10a(1~2g/株)		定植時	作条散布 又は植穴 処理	1回	なす
ジェイエース粒剤		アセフェート粒剤	1B		3~6kg/10a(1~2g/株)		定植時	作条散布 又は植穴 処理	1回	なす
ハクザップ水和剤		フェンハレレート・マラソン水和剤	1B,3A	劇	2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
ベスタガード水溶剤		ニテンピラム水溶剤	4A		1000~2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
マブリック水和剤20		フルベリン水和剤	3A	劇	4000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
マラソン乳剤		マラソン乳剤	1B		2000~3000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	6回以内	なす
モスピラン顆粒水溶剤		アセタミプリド水溶剤	4A	劇	2000~4000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
モンテフロアブル		スピロテトラト水和剤	23		2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
				500倍	25~50mL/株	育苗期後半~定植当日	灌注	1回	なす	
ロディール乳剤	フェンプロピトリン乳剤	3A	劇	1000~2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす	
材料カガ	スピノース顆粒水和剤	スピノサド水和剤	5		5000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	トルネードエスDF	インドキサカルブ水和剤	22A		2000倍	100~300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
ワシツコナジラミ	アデイオン乳剤	ベルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	オルトラシ粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a(1～2g/株)		定植時	作条散布 又は植穴 処理	1回	なす
	ジェイエース粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a(1～2g/株)		定植時	作条散布 又は植穴 処理	1回	なす
	ハクサップ水和剤	フェンバレート・マテソソ水和剤	1B,3A	劇	2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
チャノコリダニ	モレスタン水和剤	キネザリン系水和剤	"UN(*)		2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
チャノコリダニ幼虫	アブロード水和剤	ブブローフェジン水和剤	16		1000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
アトウムシダマシ類	アデイオン乳剤	ベルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000～2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	なす
ネキリムシ類	カルホス粉剤	イキザチオン粉剤	1B		6kg/10a		は種時又は植付時	土壌表面 散布土壌 混和処理	2回以内	なす
ハスモンヨトウ	アデント水和剤	アクリナトリック水和剤	3A		1000倍	150～300%/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす
	ノモルト乳剤	テフルベンスロン乳剤	15		2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	マトリックフロアブル	クロマフェジド水和剤	18		2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	なす
ハダニ類	コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす
	コロマイ乳剤	ミルベメクチン乳剤	6		1500倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	ダニオーテフロアブル	アソナピル水和剤	33		2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	なす
	バロックフロアブル	エトキサール水和剤	10B		2000倍	100～350%/10a	収穫前日まで	散布	1回	なす
	粘着くん液剤	ヒドロキシプロピル化リソ酸架橋デンプン液剤			100倍	150～300%/10a	収穫前日まで	散布	-	野菜類
ミナミキロアザミヤ	コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	100～300%/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	なす